

# 令和7年度静岡県臨床検査精度管理調査報告

## アンケート集計結果

参加申込者数 : 225名 (会員222名、非会員3名) ※前年度219名

アンケート回答者人数 : 129名 (会員126名、非会員3名) ※前年度194名  
\*現地参加者はアンケート回答が必須でないため昨年度より減

### 目次

1. 【化学・免疫】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見.....2
2. 【血液】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見.....3
3. 【微生物】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見.....4
4. 【輸血】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見.....5
5. 【病理】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見.....6
6. 今回の報告会へのご質問・ご要望・ご意見.....7

## 1. 【化学・免疫】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

① 免疫項目メーカー測定値にロシュ社のデータがなかったのは？

⇒静岡県臨床検査精度管理調査では、各メーカーに依頼し無償で試料の測定結果を提供していただいております。ロシュ社は無償で実施することに対し、社内コンプライアンス規定に反するためご参加いただけませんでした。ご理解の程よろしく願いいたします。

(ご要望)

① 各施設のパニック値運用について勉強会で聞きたいです。

⇒学術部門に共有させていただきます。

② 他部門にあるような内部精度管理の実施状況（測定のタイミング、回数、試料）を、免疫血清の分野でも知りたいので調査してほしい。PSAや甲状腺ホルモン、免疫グロブリンなど。

⇒臨床化学・免疫血清部門は項目数が多く、全ての項目の内部精度管理状況の確認は難しいかもしれませんが、次年度以降検討させていただきます。

③ 免疫部門でアボットのPSA試薬を使用している。PSAの試薬は1割以上誤差のあるものが不良LOTとなったが、回収対象でないLOTも高値傾向なグレーな試薬であった。PSAは評価対象外として欲しかった。

⇒「Alinity i システム」を使用している施設は、不良LOTの使用状況とは関係なしに全施設が評価対象外とさせていただきます。「ARCHITECT i シリーズ」はアボット社に確認後、問題がないと回答がございましたので、今回はこのような集計方法とさせていただきます。

④ 測定機器についても集計して頂けると嬉しいです。

⇒免疫血清部門は機器別に集計を行っております。臨床化学は各施設での測定機器の入力が不十分な状況や、使用している試薬（測定法）により結果が異なる場合が多いため、現状の集計をさせていただきます。

(ご意見)

① 取りまとめ報告ありがとうございます。自院の精度管理に活かしていきたいと思えます。大変お疲れさまでした。

② 膨大なデータの取りまとめありがとうございます。

③ 評価方法が変更もわかりやすかったです。結果が収束しているが自施設の結果だけでなく、C評価以下の結果の推移もわかりやすかったです。

④ 全体的に収束した結果のようでしたので、自施設もこれまで同様に精度管理を行なって行きたいと思えます。

⑤ PSAは残念でした。自主回収ロットではなかったですが、10%まで行かない程度の高値

傾向ではありました。(4-8%くらい) 報告・解説ありがとうございました。

⑥ 勉強になりました。

⑦ 参考になりました。

⑧ アミラーゼの基質の違いによるデータの比較が参考になりました。

⑨ わかりやすい解説で助かりました。当施設でも A 判定を目指したい。

⇒①②③④⑤⑥⑦⑧⑨励ましや労いのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様の業務のお役に立てるような情報を提供できるように尽力してまいります。

## 2. 【 血 液 】 の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

特になし

(ご要望)

① アンケートで凝固の遠心条件とか保管条件とか、どうしてるのか聞いてもらえたら

⇒ご参加いただきありがとうございます。今年度は凝固検査の報告において、「凝固検査検体取扱いに関するコンセンサス」についても解説いたしました。ご提案の通り、各施設においてコンセンサスがどの程度実施されているのか、アンケート調査においても情報収集できるよう前向きに検討させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

② 私見にはなるが、末梢血液像で最も落としてはいけない細胞は芽球様細胞だと思うので、2 標本の内 1 標本は芽球様細胞の出ている標本にしたほうが良いのではないでしょうか。さらに、芽球様細胞がスメア上に 1 個は難しいと思うが出現割合が少ないほど良いと思う。

⇒ご参加いただきありがとうございます。例年、芽球様細胞が認められる標本を準備しておりましたが、その状況が続いていたため、今年度はあえて芽球様細胞が認められない(異形成所見のみ認められる)標本を準備しておりました。また、ご提案の通り、昨年度は芽球様細胞が数%程度認められる標本を準備しております。残余検体を用いて標本を作成する都合から、芽球様細胞が認められる標本を必ず準備できるとは断言できませんが、末梢血液像鏡検において芽球様細胞の鑑別スキルは重要であると考えておりますので、今後も提供できるよう尽力してまいります。

(ご意見)

① 取りまとめ報告ありがとうございます。自院の精度管理に活かしていきたいと思います。

② 検体取扱いに関するコンセンサスについても復習できました。データの取りまとめありがとうございました。

- ③ 昨年度からの修正点が今回改善されていることがわかった。低値であったことによる変動や来年度からの報告値の桁数変更案内もあり、わかりやすかったです。
- ④ 改善点もありそうですが、いつもありがとうございます。
- ⑤ 自施設は、朝一度のコントロール測定ですが、昼と夕方など1日2回の所も増えてきているなと感じました。
- ⑥ 報告・解説ありがとうございました。
- ⑦ 結果以外のアンケート調査が非常に参考になった。
- ⑧ わかりやすい報告でした。
- ⑨ 凝固について、集計報告だけでなく、コンセンサスについても教えていただけたのがよかった。

⇒①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ご参加いただきありがとうございます。また、励ましのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様に有益な情報を提供できるように尽力してまいります。次年度もよろしくお願いたします。

### 3. 【 微生物 】 の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

- ① 試料 33 について、質量分析では *K.pneumoniae* までしか出ないのですが、*K.pneumoniae* と出たものは全て確認試験を行い、亜種まで同定しなくてはならないのでしょうか。

⇒その方が望ましいとは考えておりますが、全例での実施となると、対応が困難な施設もあると理解しております。亜種によって治療薬や病原性に違いがあることを踏まえ、耐性菌の場合や血液培養陽性例、無菌検体など、対象を限定して実施する方法も一案ではないかと考えます。

- ② 資料 34 の薬剤感受性 (CFPM) で B 判定の●●病院です。今回、この項目では 3 施設が B 判定となっておりますが、すべて BD のフェニックス採用施設だと思います。フェニックスはもともと MIC は高めに出るといわれています。ただ静岡県内では採用施設が少ないので、少数派になるのも仕方がないことだとも思っております。中央値一管差で MIC 値的には良いけれど判定が I というのが B 判定の理由ととらえましたが、MIC が 16 であるとするカテゴリ判定を S とするのも変だと思いがいかがでしょうか。

⇒報告書にも記載しましたように、今回の判定基準はここ最近の日臨技サーベイの基準に合わせて中央値の±一管差とカテゴリ結果で評価させていただきました。

ご指摘のあったNo.34のCFPMに関しては全ての施設でMIC値としてはA判定としましたが、カテゴリの違いによりB評価の許容範囲とさせていただいております。C判定などの不正解ではありません。ご指摘の通り、機器間でMICに差が出ることはすでに報告が

あるかと思ひます。周囲の病院と比較して各ご施設で使用している機械の特性を確認いただくこともサーベイランスの意義であると考えておりますので、本結果を踏まえ日々の結果報告に活かしていただきたいと思ひます。

(ご要望)

特になし

(ご意見)

- ① アンケート調査結果について、細かくまとめていただきであり、今後の日常の精度管理等に参考にさせていただきます。報告会ありがとうございました。サルモネラ抗血清を常備することの必要性を再認識しました。
- ② 県内病院の規模と担当技師の人数など、各施設の検査室の状況がわかるアンケート調査が参考になった。
- ③ 勉強になりました。
- ④ 菌の特徴を説明していただけてよかったです。カルテからの情報も大事にして検査を行うことが大切だと知ることができました。

⇒①②③④励ましや労いのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様の業務のお役に立てるような情報を提供できるように尽力してまいります。

#### 4.【輸血】の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

特になし

(ご要望)

- ① 各施設の不規則抗体同定までに至る、検査のダブルチェックについて実施している施設からの意見を聞きたいです。
- ⇒輸血検査は自動化が進んでいますので、ダブルチェックの機会は少なくなっておりますが、用手法で検査を実施する場合は、各プロセスでダブルチェックは必要と考えます。  
ご要望いただいた不規則抗体検査のダブルチェックについても、実施が理想的だと思います。しかしながら、不規則抗体同定検査を完遂できる人員確保は困難な施設もあるかと思ひますし、部門員の施設でも実施している施設はあまりありません。抗体名をシステム入力する際にダブルチェックをし、同定プロセスや抗体名に誤りがないか確認している施設はあります。

(ご意見)

- ① 報告・解説ありがとうございました。
- ② RhD 判定について認識の誤りがありましたので、今後は修正していきたいと思います。
- ③ 勉強になりました。
- ④ わかりやすい報告でした。

⇒①②③④励ましや労いのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様の業務のお役に立てるような情報を提供できるように尽力してまいります。

## 5. 【 病 理 】 の精度管理調査および結果報告へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

特になし

(ご要望)

- ① 次回のアンケートなどで、生検処理工程のビデオ撮影についてや、検体紛失への対策を取り上げてもらえると助かります。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。部門内で検討し、次回以降のアンケート項目作成の参考にさせていただきます。

(ご意見)

- ① わかりやすい評価ポイントと画像で納得のいく精度管理報告を受けることができました。
- ② S100 のみの参加でしたが、自施設の染色性を見直すことができ大変勉強になりました。
- ③ 毎年の調査や報告など精度管理委員の方々に感謝しています。他施設の意見や工夫していることなどを知る機会ができよかったですとおもいます。
- ④ 病理分野における精度管理調査および結果報告について、日頃の業務を振り返る良い機会になったと感じました。各施設の状況や注意点が整理されており、今後の精度管理や業務改善の参考になる内容だと思います。
- ⑤ 毎年の調査や報告など精度管理委員の方々に感謝しています。他施設の意見や工夫していることなどを知る機会ができよかったですとおもいます。
- ⑥ 勉強になりました。
- ⑦ 匿名ではあるが他施設の結果とともに抗体と機種組み合わせや作業工程の違いなどがわかりやすくまとめられており、とても参考になった。

⇒①②③④⑤⑥⑦ご参加いただきありがとうございます。また、励ましのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様に有益な情報を提供できるように尽力してまいります。

す。次年度もよろしく願いいたします。

## 6.その他、報告会へのご質問・ご要望・ご意見

(ご質問)

① いつも思うのですが、何故一般分野だけ行わないのですか？

⇒静岡県の精度管理調査では、N数の関係で機器試薬別での評価が難しい場合もあります。そのため、人由来の試料を用いることでマトリクスの影響を軽減し、全施設で統一した評価ができるように配慮しております。一般部門(学術部)とも少しずつではありますが、静岡県の特徴を活かした精度管理調査ができないかを相談している段階です。学術部門ではフ  
ォトサーベイを実施しておりますので、しばらくはそちらをご活用いただければ幸いです。

(ご要望)

特になし

(ご意見)

① 通常業務もされながら、精度管理調査に携わる皆さまに感謝申し上げます。全ての解説、大変わかりやすかったです。

② いつも、準備からデータの取りまとめなど、ありがとうございます。自施設の結果だけでなく、他施設の情報なども確認できる場としてこれからも活用させていただきたいです。

③ ありがとうございます。

④ いつもありがとうございます。

⇒①②③④ご参加いただきありがとうございます。また、励ましのお言葉をいただきありがとうございます。今後とも皆様にも有益な情報を提供できるように尽力してまいります。次年度もよろしく願いいたします。

⑤ 現地開催だけだと1部門しか聞けないので、今後もハイブリット形式での開催をよろしく願いいたします。また、panic value→critical valueの普及活動お願いいたします。

⇒ご参加いただきありがとうございます。2024年に日本臨床検査医学会より提言書がでて  
いますので、化学・免疫、血液の責任者と共有させていただきます。貴重なご意見あり  
うございます。

⑥ 自宅で精度管理報告会の内容を視聴できることに、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑦ コロナ期より、いろんな開催方法で取り組んでいただいております。オンデマンドはコロナの恩恵だと思っておりますが大変助かります。ありがとうございました。

⑧ 今後も Web 報告会を続けてほしいです。

⇒⑥⑦⑧ご参加いただきありがとうございます。次年度も現地開催とオンデマンド配信を予定しております。多くの会員の皆様にご参加していただけるようにオンデマンドでの配信を継続していければと考えております。お時間があれば、是非現地にも顔を出していただくと、直接意見交換もできますので、よろしく願いいたします。

⑨ 田内先生のご講演も大変勉強になったが、より時間をとって詳しくやって頂けたらより嬉しいです。

⇒ご参加いただきありがとうございます。田内先生には、毎年検査業界のトピックを提供していただいております。講演時間に関しては、報告会の時間の都合により講演時間を調整しています。ご理解の程よろしく願いいたします。